

帯単元「コメント王」にみる高校一年生の新聞を読む力・批評する力

竜田 徹

I 帯単元「コメント王」の概要

以前、「書く意欲を引き出し、書く力を育てる実践的試み」と題して、国語の授業で新聞記事を読む帯単元学習を提案・報告したことがある（拙稿「書く意欲を引き出し、書く力を育てる実践的試み」『国語教育研究』五一号、二〇一〇年）。その実践研究の継続版として、稿者は昨年度、ほぼ同じ試みを、広島県内の県立高校で行った。高校一年生の「国語総合」（現代国語分野）の時間である。指導目標は、様々な種類の文章の読みに習熟し、自分の感じたことや考えたことを簡潔に表現する能力を育成することにあつた。取り組みの概要は次の通りである。

【単元名】コメント王——新聞記事を読んでコメントを書く

【学習指導過程】授業開始直後約十分間を用い、次の順序で展開する。

- 一、指導者は、新聞記事とコメント記入欄（余白）とを一枚におさめたプリントを学習者に配布する。
- 二、指導者は、記事を読んで感じたことや考えたこと（記事についてのコメント）を書くように学習者に指示する。
- 三、学習者は、記事を黙読し、記事を読んだのコメントを余白に書き込む。指導者は、書き出せない生徒に対して、助言を行う。
- 四、指導者は、学習者が書き終えたことを確認してプリントを回収する。これ以降は通常の授業を行う。

五、指導者は、授業後に学習者のコメントにコメントする（朱筆）。

そして次の授業開始時に学習者に返却する。同時に、学習者のコメントのいくつかを紹介する。

以上の展開を、一年間の授業で（クラスにつき約五〇回ずつ）重ねてきた。本稿は、「コメント王」の一年間の取り組みの成果を、「読む力・批評する力の育成という観点から、考察するものである。まず次節では、新聞記事の教材化について述べたい。

II 新聞記事の教材化の実際と考察

教材化した新聞記事の数は、計七〇種類余りである。

新聞記事を選ぶ際には、特に次の四点に注意した。

- 生徒が不快な思いを抱くような内容が記事に含まれていないか（生徒一人ひとりの複雑な事情にできる限り配慮する）。
 - 取り上げる記事のジャンルが偏っていないか（内容、文体、グラフィ・イラストの使用等の面でバランスよく選定する）。
 - 記事の文章量は適切か（活動時間に見合った文章量にする）。
 - 生徒に気づかせたい点や考えさせたい点の記事が含まれているか（生徒が書くコメントの内容を予想する）。
- 生徒から出される反応の範囲を想定しながら、生徒が不快な思いを

抱くことなく読み通すことができ、かつ生徒に気づかせたい、考えさせたい箇所が少なからず含まれている記事を選ぶことが切要である。

次項に掲げるのは、以上をふまえて教材化した約七〇の新聞記事の一覧である。作成にあたっては、使用した新聞記事を、一年間の活動の流れがわかるよう、授業実施年月日順に配列した。また、新聞記事の書誌情報をできる限り詳しく記した。

i 教材化した新聞記事の実際

〔凡例〕……………
〔新聞記事からの引用部分を示す。〕

○年○月○日【○組○回】…授業実施年月日と、実施クラス(仮名)、

回数を記す。ニクラス(各四〇名)で行った。☆印は「ii」参照。

①…記事の見出しを記す。《天声人語》の見出しは朝日新聞記事データベース『聞蔵II』による。

②…記事の出典を記す。連載・寄稿・投稿の場合は執筆者を記した。《》は連載やコラムの名称を示す。

③…記事のおよその字数(一行の字数×行数、一の位切り捨て)／記事等のおよその大きさ(たて×よこ、cm)／その他の注記。写真や図表、イラストがある場合は、明らかな範囲で、その説明や作者を記した。小さなものでもできる限り記録した。

④…記事の一部引用または内容紹介。引用の後に「||冒頭」「||結び」と注記し、記事のどの部分からの引用かを示す。

☆二〇〇九年四月一日(火)【B組初回】①(達人たちの言葉)②

《天声人語》『朝日新聞』二〇〇九年四月一日③六〇〇字／〇×18④
(大きな大会が底力を引き出すことも、夢の舞台にねじ伏せられるこ

ともある。どんな結果もプロらしさに磨きをかけ、見せるばかりか「聞かせる」選手が育つ。) ||結び。

☆四月一日(木)【B組二回】二三日(木)【A組初回】①(もう食べたん? 広島市西区 根石妙美 無職・64歳)②(ひととき)『朝日新聞』〇九年四月一日③五六〇字／〇×14④(組むならば)「ご飯ゆつくり 食べる人」という私の川柳が朝日新聞地方版に載ったことがある。それを見た夫は「僕は食べるのが早すぎるからねえ」と言った。私たちは同時にはしを持って食べ始めるのだが、彼は私が半分も食べ終わらないうちに空になった食器を流し台に運び、猫と遊んでいる。||冒頭。

☆四月二三日(木)【B組三回】①(Q彼女は僕の友が好き A自分を磨けば道は開ける)②森岡正博《悩みのレッスン》『朝日新聞』〇九年四月一日③八四〇字／〇×14/写真あり||森岡氏の顔写真④(彼女のことが、誰にも負けないくらい好きだというその気持ちを、なによりもまず大切にしてください。そのうえで、あせらずに、彼女が振り向いてくれるのをじっと待ってみてはどうでしょうか。彼女はいま、あなたの男友だちのことで頭がいっぱいになっています。ですから、あなたがいま彼女に積極的にアタックしても、あまり効果がないでしょうし、逆に嫌がられるかもしれません。)||森岡氏の回答部分の冒頭。

☆四月二七日(月)【A組二回】①(ガンダムの科学1 軌道エレベーター)②(カーボン素材発見で現実味)③(のぞきまど)『朝日新聞』〇九年三月一日④八〇〇字／〇×12/写真あり||「機動戦士ガンダム〇〇」の映像。④(人気アニメ「機動戦士ガンダム」が79年に初放映され、今年30周年になる。現在、テレビ通算12作目の「機動戦士ガンダム〇〇(ダブルオー)」が放送中だ。この作品の特徴は、「軌道エレベーター」が細かい設定まで含めて本格的に登場し、戦闘やテ

口の舞台になるなど重要な役割を果たしていることだ。高度約3万6千*の宇宙と地上とを結ぶ超高速エレベーターだ。〓冒頭。

☆四月二十八日(火)【B組四回】①(ロスタイム 両腕時計と主審のさじ加減)②(スポーツラボ)『朝日新聞』〇九年二月二日③八一〇字/10x22/写真あり〓(ロスタイムの表示。主審から指示を受け、第4の審判が掲示する)④(サツカーでロスタイムをどれくらいとるか、主審の「裁量」に任されている。主審は両腕に一つずつのデジタル腕時計をはめる。一つはキックオフの笛を吹くのと同時にスタートさせ、動かしっぱなし。もう一つは競技規則がロスタイムと認める、選手の交代にかかる時間や、けがをしてピッチの外に退く際にかかる時間などを計測するものだ。)〓冒頭。

四月三〇日(木)【B組五回】①(痴漢無罪判決 二重の悲劇を防ぎたい)②(社説)『朝日新聞』〇九年四月一六日③一〇五〇字/10x16④(電車内の痴漢事件では、物証などが得られにくく、被害者の供述が唯一の証拠である場合が多い。被害者の思い込みにより犯人とされると反論が難しく、慎重な司法判断が求められる。おとといの最高裁判決はこのように述べて、強制わいせつの罪により一、二審で有罪判決を受けた防衛医大教授の男性に、逆転無罪を言い渡した。)〓冒頭。

五月七日(木)【A組三回】【B組六回】①(うどん 日本を知恵練った? 料理研究家・奥村さん 「ワントン起源」検証 新説)②『朝日新聞』〇九年一月二五日③八二〇字/10x16④(うどんのルーツは中国ではなく、日本だった? —うどんは、日本で独自にできた食べ物とする新説を、伝承料理研究家の奥村彪生さん(71)が30年がかりの現地調査でまとめた。これまで、うどんは漢字表記の変化などから、中国のワントンが原型というのが有力な説だった。)〓冒頭。

☆五月二五日(月)【A組四回】①(傘をかけるキャップ)②(休眠

特許)『朝日新聞』〇九年一月一九日③六一〇字/10x16/イラストあり〓(傘をかけるキャップ)を使っている様子。大迫緑・作④(折りたたみ、ワントッチで開く、自転車に固定する、簡単にビニールカバーをかけられる……傘を巡る工夫は果てしない。国内で年間1億本近く販売される身近な必需品は、発明家を引きつけてやまないようだ。)〓冒頭。

☆五月二六日(火)【B組七回】六月一日(月)【A組六回】①(14x59)②(落合恵子(積極的その日暮らし)『朝日新聞』〇九年五月二三日③八二〇字/12x11/イラストあり〓宿輪貴子・作④(わたしの日常の大半は、予定をメモしたノートに添って進行する。メモをしたのは他でもないわたしののだが、時々ノートに管理されているような気がして、なぜか滅入ったりする。このノートをなくすと、わたしの日常のある部分は確実に止まる。預金通帳より大事だと断言できる! 「ほんとか?」と陰の声。ノートの曜日には、16x45とか22x40とか、不可思議な数字が並ぶ。たとえば毎木曜の14x59、これはこのコラムの文字数だ。)〓冒頭。

☆五月二八日(木)【A組五回】【B組八回】①(空気の読み過ぎ 社会を萎縮させる同調圧力)②(萱野稔人『朝日新聞』〇九年四月九日③一二〇〇字/12x22/写真あり〓萱野氏の顔写真④(空気を壊してはならないという圧力は、人びとにコミュニケーション能力をさらに要求するだろう。しかしそれが進めば、社会のなかで同調圧力が強まり、社会そのものが萎縮してしまうだけである。)〓結び。

☆六月二日(火)【B組第九回】①(佐佐木幸綱選)②(朝日歌壇)『朝日新聞』〇九年六月一日③投稿短歌十首とその評/10x16④(松本清張・棟方志功・土門拳面魂という語を読めば(茨木市)瀬川幸子) (白壁に寝惚け眼で頭突きするそして始まる今日(神戸市)青木美

穂) (旧かなの名歌ワードで貯めるとき文語のあたり五月蠅き波線(東京都) 吉竹純) || 冒頭の三首。

☆六月四日(木)【A組七回】【B組一〇回】①(ゲームを生活の「道具」に 任天堂代表取締役専務 宮本茂さん(56歳))②(フロントランナー)『朝日新聞』〇九年四月二日③二四八〇字/4X274(かれこれ30年、新しい遊びを開拓し続けてきた。世界中で4千万本を売り上げた85年の「スーパーマリオブラザーズ」は、テレビゲームの文法を作ったと言われた。98年の「ゼルダの伝説 時のオカリナ」では生命感あふれる仮想空間を作り出し、絶賛された。「別のゲームに似ていると言われるのが一番嫌。新作を発表するたびに、今度こそ失敗するぞ、失敗するぞ、と言われていた間が一番わくわくします」 || 冒頭。

☆六月八日(月)【A組八回】【B組一回】①(ころころころころ)②谷川俊太郎(8月の詩)『朝日新聞』〇八年八月二日③詩。一二〇字/15X54(ころころころんところんたらころころころころころがってころころころころわらいだす) || 詩の第一連。

六月一日(木)【A組九回】【B組一二回】①(足利事件 DNA型一致せずの衝撃)②《社説》『朝日新聞』〇九年六月五日③一〇五〇字/15X34(がくぜんとする。刑事裁判の歴史にまた汚点加わることになりそうだ。栃木県足利市で1990年、4歳の女児が殺害された。警察は幼稚園バス運転手だった菅谷利和さんを逮捕した。その菅谷さんがきのう、逮捕から17年半ぶりに釈放された。逮捕の決め手となったのは、捜査に導入されてもないDNA型鑑定だった。被害者の衣服についていた犯人の体液と菅谷さんの体液の型が一致したとの鑑定結果が出たのだ。) || 冒頭。

☆六月十五日(月)【A組一〇回】①(上る・下る@瀋陽 不思議な

坂 上りなのに転がる車輪)②『朝日新聞』〇九年六月三日③五八〇字/15X21(写真あり) || (上り坂のはずなのに自転車が勝手に動き出す不思議を体感する子供たち)④(確かに下り坂に見える。だが、ペダルを踏まないで自転車は進まない。折り返し点を回る。もと来た道は上り坂のはずだ。しかし、車輪はそろりと勝手に動き出す。) || 冒頭。

六月一日(火)【B組一三回】①(オタマジヤクシのち小魚? 鳥か竜巻か深まる謎 石川)②『朝日新聞』〇九年六月一日③六三〇字/15X55(写真あり) || 降ってきた小魚④(オタマジヤクシが空から降ってくるという珍現象があった石川県七尾市や白山市に続き、今度是小魚約10匹が中能登町の住宅街で見つかった。事態が拡大する中、原因をめぐって専門家の見方も割れている。) || 冒頭。

☆六月八日(木)【A組一回】【B組一回】①(のちゃん 4320)②(いしいひさいち(のちゃん)『朝日新聞』〇九年六月七日③四コマ漫画/16X64(野球の練習中、(山田)はチームメイトの(島田)と衝突する。(島田)のもとに多くの仲間が駆けつける一方、(山田)は(ほったらかし)にされ、そのうえ(救急箱)を取ってくるよと言いつけられてしまう。

☆六月二日(月)【A組一二回】①(娘とお風呂 いくつまで)②《あつと! @データ》『朝日新聞』〇九年六月二日③三二〇字/15X21(図あり) || 調査結果を表す棒グラフ。(父親が妻と同程度以上にかわっている育児(内閣府国際意識調査)。(子供と一緒に入浴する上限の年齢(風呂文化研究会調査「浴育」のすすめ)④(あすは父の日。お風呂は、父と我が子の大事なふれあいの場だ。日・韓・米・仏・スウェーデンの比較調査では、日本のお父さんの育児への参加度合いは全般的に低いのに、なぜか入浴だけは、スウェーデン以外の三カ国を

上回って積極的。〓冒頭。

六月二十九日(月)【A組一三回】三〇日(火)【B組一五回】①(セブンイレブン 捨てない仕組みをめざせ)②《社説》『朝日新聞』〇九年六月二三日③一〇五〇字/17x13④(戦後最大の流通革命のひとつに入るのが、コンビニエンスストアの普及だ。そのビジネスモデルが、大きな転換点を迎えた。公正取引委員会がコンビニ最王手のセブンイレブン・ジャパンに対して排除措置命令を出した。売れ残りそうな弁当やおにぎりを値引き販売している加盟店のオーナーに、不当な圧力をかけて値引きを妨げたというのだ。)〓冒頭。

七月二日(木)【A組一四回】【B組一六回】①(死者にも給付金@豪州)②《グローバル・ホッパーズ》『朝日新聞』〇九年六月二二日③四〇〇字/17x11④(景気回復の狙いでオーストラリア政府が出した給付金が、既に死亡している1万6000人にも支払われていることがわかった。)〓冒頭。

☆七月六日(月)【A組一五回】①(小学校のクラス会に出たい?)②《The Between 読者とつくる》『朝日新聞』〇九年六月二七日③図あり〓調査結果を表す円グラフ、棒グラフほか。岡山進矢・作/12x12④朝日新聞読者(ベモニター)(5942人)に実施した調査の結果を伝える記事。(小学校のクラス会に出たい?)への回答は(はい 67%) (いいえ 33%)だった。ほかに(小学校のクラス会に出たことは?) (いまも付き合いのある小学校の同級生は?)の質問がある。

七月七日(火)【B組一七回】①(オバマ氏後輩核問う ハワイの高2 8・6広島へ 被爆2世教員が橋渡し)②『朝日新聞』〇九年七月五日③八二〇字/17x19/写真あり〓広島を訪ねる生徒と被爆二世の教員の写真、高校在学時のオバマ米大統領の顔写真④(米ハワイ・ホノルル市のプナホー学園高等部からこの夏、生徒2人が初めて広島

を訪れ、8月6日の平和記念式に参加する。同校は「核兵器のない世界」の実現を唱えるオバマ米大統領の母校。日本語を教える被爆2世の教員らが「歴史観の違いを超え、平和のために手を携えてほしい」と橋渡しした。)〓冒頭。

☆七月十三日(月)【A組一六回】①(「じいじ」「ばあば」優しい語感人気 大人の25%使ってます 国立国語研究所)②『朝日新聞』〇九年七月二日③一〇七〇字/16x11④(祖父母を「じいじ」「ばあば」と呼ぶ大人が4人に1人いることが、国立国語研究所(東京都立川市)の調査でわかった。首都圏では40~50代の女性の半数が使っている。幼い孫などが使う時の優しい語感が受けて、成人の間にも広まっているようだ。)〓冒頭。

☆七月十四日(火)【B組一八回】①(私的記念日の効用)②《天声人語》『朝日新聞』〇九年七月六日③六〇〇字/15x11④(思い出だけで生きたらいけないけれど、人生の目次から再生した感動が、己を励ますことはある。それが大切な出会いでも、から揚げでもサラダでもいい。ぬかるむ日々になぜか巡り来る、記念日という飛び石に救われる。)〓結び。

七月十六日(木)【A組一七回】【B組一九回】①(時間厳守? なネズミ)②佐藤雅彦『プチ哲学』中央公論新社、二〇〇四年③二七〇字/15x11(文庫版6ページ分を縮小コピーして使用した。)〓イラストあり〓佐藤雅彦・作④(このネズミくんはすこしトンチンカンながらも「自分の時間」というものをしっかり持っています。彼の場合、時間厳守というよりも、自分の時間を厳守している、といった方が言い得ているかも知れません。)〓同書44ページ〓の冒頭。

☆八月二十七日(木)【A組一八回】【B組二〇回】①(駅自動券売機戸惑う高齢者 主婦 大庭加代(福岡県飯塚市 69))②《声》『朝日新聞』

○九年八月二十六日③390字/「X3」④(公共交通機関の設備も年々新しくなり、自動改札や新型の自動券売機なども設置されるようになりました。若い人たちは順応性もありますが、私くらいの年齢になりますと、複雑な作業を必要とする機械操作に戸惑い、列車出発までの時間がない時はイライラしがちになります。) 〓冒頭。

☆八月三十一日(月)【A組一九回】九月一日(火)【B組二二回】①(「いわせてもらおう」②『朝日新聞』○九年八月二十九日③七七〇字/「3X6 /イラストあり」④大雪師走・作④(消費期限? スーパーで買い物中、缶ビールを過って足の甲に落とした。痛かったので帰宅して確かめると、腫れて真っ赤。湿布薬を張ろうとしたら、ずいぶん日付が古い。「賞味期限が切れてる」と言うと、息子(25)が噴き出して「食べ物じゃないよ」。(千葉県松戸市・笑い事じゃないんだけど・50歳) 〓読者投稿の一つ。

☆九月三日(木)【A組二〇回】【B組二二回】①(テレビ字幕、なぜ入れるの? ツツコミの代わり 制作者の意図込める)②(文化特捜隊『朝日新聞』○九年八月二二日③一九〇〇字/「24X21」(二回に分割して使用した。この回は、七四〇字/「5X6」/写真あり)③テレビのに入ったテレビ画像の写真)④(テレビを見て笑いながら、ふと気付く。芸人の言葉よりテロップ(字幕)に笑ったのでは? 報道番組を見ると、ここにもテロップが。いつからこんなに使われるようになったのか。) 〓冒頭。

☆九月七日(月)【A組二二回】一五日(火)【B組二三回】①②③前回と同じ(この回は、一一六〇字/「5X21」/イラストあり)④テレビ局の(テロップ制作部)で、局長が部下に、(孫の運動会のビデオにもテロップ入れてくれ)と頼む様子。ヨシタケシンスケ・作④(では、なぜテロップは受け入れられたのか。NHK広報局は、「インターネット

が普及し、画面上の文字が多いことに慣れてきた視聴者が増え、妨げにならなくなってきた」と現実的な理由を挙げる。一方、『ゼロ年代の想像力』の著者で評論家の宇野常寛さんは「人々の共通認識がなくなったため」と社会の変化に目を向ける。「90年代後半から人間関係や情報の環境が変化し、この事件はこれが問題などという共通の『世間』が失われた。そのため、作り手側が事件の問題点や笑いどころをテロップで説明する必要が出てきたのではないか」と指摘した。) 〓結び。

九月一〇日(木)【A組二二回】①(科学五輪 理科好き生徒増やしたい)②(『社説』『朝日新聞』○九年八月二五日③一〇五〇字/「X3」④(世界の高校生が競う国際科学オリンピックでこの夏、日本の代表が大活躍した。5科目に23人の選手が参加、金メダルは過去最高の12個となり、全員がメダルを獲得した。好成績をはずみに、日本の科学教育をよりよいものに変えていきたい。) 〓冒頭。

☆九月一四日(月)【A組二三回】一七日(木)【B組二四回】①(第一章 図書館)②川上弘美(『七夜物語』『朝日新聞』○九年九月一日③九六〇字/「X3」/イラストあり)③酒井駒子・作④(さよは、いつも不思議に思っていた。なぜ母さんは、図書館が嫌いなんだろう、と。もちろん、母には嫌いなものがたくさんある。「さよちゃんのお母さんは、変わっている」さよの家に遊びに来た友だちは、たいがいそう思うらしい。たとえ口に出さなくとも、お腹の中では、そう思っているにちがいないということ、さよは知っている。) 〓冒頭。

☆九月一七日(木)【A組二四回】①(水杯になったレモンティー 無職 石井幸恵(大阪府高槻市 83))②(『声』『朝日新聞』○九年八月一五日③五一〇字/「4X6」④(私は幼稚園に入ると「チョウウチョウウチョ」)「テッポウカツイダヘイタイサン」の歌と、お遊戯を教わり、兵隊さんが大好きになりました。) 〓冒頭。

☆一〇月一五日(木)【A組二五回】

①(トイレを使わない理由)②プレム・モトワニ《motwani@india》『朝日新聞』二〇〇九年五月九日③七三〇字/㊦㊧㊨/写真あり④モトワニ氏の顔写真⑤(インドを訪れる外国人の多くは、早朝に出る電車に乗って衝撃を受ける。線路の両側で大勢の人が用を足しているのだ。デリーやムンバイのような大都会でも、路上生活者やスラムの住民はみな道端で用を足す。)⑥冒頭。

☆一〇月一三日(火)【B組二五回】①(2 第一章 図書館)②川

上弘美《七夜物語》『朝日新聞』〇九年九月一日③九六〇字/㊦㊧㊨/イラストあり④酒井駒子・作⑤(自分の子供のことならば「さよ」と呼びつけに、よそさまの子供は「さよちゃん」と、ちゃんづけで呼ぶだろう。けれど、さよの母は違う。どうして母さんは、みんなのお母さんみたいになつてくれないんだろう。いつもさよは、思っている。)⑥冒頭。

☆一〇月一五日(木)【A組二六回】【B組二六回】①(残音)②落合

恵子《積極的その日暮らし》『朝日新聞』〇九年九月一九日③八二〇字/㊦㊧㊨/イラストあり④宿輪貴子・作⑤(ドアを閉める音が気になつて仕方がない時がある。どこかの会社の会議室。廊下を挟んで向かい合う部屋のドアが、ものすごい勢いで閉められる。何かあったのではないかと腰を浮かしたくなるほどの、すごい音である。けれども同席しているその社のひとたちは、気にする様子はなく会議を続けている。ここではすでに、日常になつている音なのかもしれない。)⑥冒頭。

☆一〇月一九日(月)【A組二七回】①(長谷川榴選)②《朝日俳壇》

『朝日新聞』〇九年九月一四日③投稿俳句十句とその評/㊦㊧㊨④(偉大なること一つなく蟬転がる(吹田市)村上永(涼風はピンポン球を追廻す(新城市)小山柳二(シベリヤの夏草分けて友埋めつ(帯広市)

吉森美信)⑥冒頭の三句。

一〇月二〇日(火)【B組二七回】①(五輪リオへ「南米初」に喝采を送ろう)②《社説》『朝日新聞』〇九年一〇月四日③一〇五〇字/㊦㊧㊨④(52年ぶりの東京五輪の夢は消えた。だが落胆している人の耳にも地球の裏側から、サンバのリズムに乗って歓喜の歌声が聞こえていることだろう。カーニバルで知られるブラジルの街、リオデジヤネイロに7年後の夏、聖火がともされることになった。)⑥冒頭。

一〇月二二日(木)【A組二八回】【B組二八回】①(試験の点数あて

にならざる也 従て学校の席順、あてにすべからざる也 正岡子規(1867~1902)②磯田道史《磯田道史のこの人、その言葉》『朝日新聞』〇九年一〇月一七日③七〇〇字/㊦㊧㊨④(正岡子規といえは俳句だが、16、17歳の頃は意外にも「太政大臣」になるのが夢であった。上京して学校に入り、試験でよい成績をとって官途につき、大いに立身出世する。江戸の身分制がなくなると、日本中の青年がそう考えた。それは明治の空気であり、子規もそのなかにいた。)⑥冒頭。

一〇月二六日(月)【A組二九回】①(「男前」新幹線引退迫る 東海

道の500系 11月から1日1往復)②『朝日新聞』〇九年九月二三日③七三〇字/㊦㊧㊨/写真あり④「500系のぞみ」の前面。⑤(来春で東海道区間(東京―新大阪)から姿を消す見通しとなつている新幹線500系車両。現在は「のぞみ」として同区間を2往復するが、11月10日から、ついに1往復だけに減らされる。速さを追求したくさび形のスマートな車体で、「男前」とも称されてきた。「500系のぞみ」の「引退秒読み」を残念がるファンは多い。)⑥冒頭。

☆一〇月二七日(火)【B組二九回】①(日常のクラクラ構造)②佐

藤雅彦《毎月新聞》『毎日新聞(夕刊)』一九九九年四月二一日③一五〇〇字/㊦㊧㊨/イラストあり④三コマ漫画ほか。佐藤雅彦・作⑤(僕

は部屋に大きなゴミ箱を置いている。そのゴミ箱には、45リ用のゴミ袋をとりつけて使っている。そして、3日にいっぺんくらいの割合で取り換える。それが日常のひとつの作業になっているのだが、何週間かに一度、その作業中、僕は決まってる奇妙な感覚に捕らわれてしまうのだ。それは昨日もやってきた。〓冒頭。

☆一〇月二十九日(木)【A組三〇回】【B組三〇回】①(じやないですか禁止令) ②佐藤雅彦《毎月新聞》『毎日新聞(夕刊)』一九九八年一〇月二一日 ③一五〇〇字/19×13/イラストあり〓三コマ漫画ほか。佐藤雅彦・作 ④(4年程前のことになるが、会社に事務のアルバイトにきていた大学生の女の子がいた。その女の子が来てまもないある日のことであつた。僕の机の上には、仕事で使うために、外国の珍しいパッケ―ジのお菓子やプレミアムがたくさん散らばつていた。それを見かけたその女の子は、こう言った。「これ余つたらもらつていいですか。ほら、私たち学生つて、こういうレアものに弱いじゃないですか」。僕は思わず言葉につまつた。「えっ、弱いじゃないですかつて、そんなこと知らないよ……」これが、僕が体験した「じやないですか」の始まりであつた。〓冒頭。

一二月二日(月)【A組三一〇回】一〇日(火)【B組三一〇回】①コメント王にコメント王 ②指導者自作 ③四コマ漫画/23×8 ④「コメント王」のプリントの作成過程を四コマ漫画で描いた。生徒たちには、次の二つの問いに対する答えを書かせた。(①コメント王三十回を通して、あなたにどんな力が身につけてきたと思いますか。あるいは、あなたのどんなところが鍛えられた、磨かれたと思いますか。②これからのコメント王では、あなたはどんなことを目標にしたいですか。あるいは、さらにどのような力を身につけていきたいですか。)

一二月二日(木)【A組三二〇回】【B組三二〇回】①(松井選手の「世

界」) ②《天声人語》『朝日新聞』〇九年一月六日 ③六〇〇字/×16 ④(7年前、大リーグ挑戦を決めた松井秀喜選手は、記者会見で一度も笑わなかった。「何を言つても裏切り者と思われるかもしれないが、いつか『松井、行つてよかったな』と言われるよう頑張りたい」。そう、本当によかった) 〓冒頭。

一二月六日(月)【A組三三〇回】一七日(火)【B組三三〇回】①室生犀星「小景異情」 ②東京書籍『国語総合 現代文編』〇九年発行 ③詩。一〇〇字/×8 ④(ふるさととは遠きにありて思ふもの。そして悲しくうたふもの) 〓冒頭の二行。

一二月九日(木)【A組三四〇回】【B組三四〇回】①(ドラクエ効果果人の山 新機能 無線でアイテム交換 町おこしに活用も) ②『朝日新聞』〇九年一〇月六日 ③一二〇〇字/24×15/写真あり〓(すれちがい通信を楽しむ) ④(駅や家電量販店周辺に人だかりができ、各自携帯型ゲーム機ソフト「ドラゴンクエスト」の画面を一心不乱にのぞき込む)。各地で時折見かける珍現象の理由は、同じゲームをしている人とすれ違うことでゲームで使う珍しい道具などを無線で入手できる新機能だ。現実世界で集客力を町おこしに生かそうとする動きも出ている。〓冒頭。

一二月四日(火)【B組三五〇回】①(冬景色2009) ②天野祐吉《CM天気図》『朝日新聞』〇九年一月一九日 ③七三〇字/13×13 ④(ラクダのモモヒキが恋しい季節になった。と思つていたら、テレビではユニクロがヒートテックのCMをやっている。夜。東京の街を歩く女性↓ニューヨークの街を歩く男↓ロンドンの街を歩く女性。東京の画面には5℃、ニューヨークには3℃、ロンドンにはマイナス1℃という記号が小さく出るだけで、ナレーションはない。で、最後に「冬の着こなしを変える、世界の冬を変える」という文字が現れて……)。

||冒頭。

☆二月二六日(木)【A組三五回】【B組三六回】①〈聞き上手になる4 相づちの引き出し増やそう〉②《あなたの安心》『朝日新聞』〇九年一〇月二七日③八五〇字/22×8④〈話しかけると、「うん、うん」と葉っぱがうなずくように動く。セガトイズの「ペコッぱ」は聞き上手な植物型玩具だ。昨年9月に発売し5万個を販売、今年7月には、花がうなずく「花っぱ」も発売した。〉||冒頭。

一月三〇日(月)【A組三六回】①〈ト音楽「かける」から「挿す」へ USBメモリー版続々〉②『朝日新聞』〇九年一〇月六日③七八〇字/16×15/写真あり||〈浜崎あゆみ「NEXT LEVEL」のUSBメモリー版。左の羽の部分を外すと挿入端子が出てくる〉、〈倉木麻衣「ALL MY BEST」USBメモリー〉④〈音楽をCDプレーヤー以外の機器で楽しむ人が急増する中、パソコンに直接データを移せるUSBメモリーや、携帯電話に対応したマイクロSDカードでリリースされるアルバムが売り出され始めた。アクセサリになりそうなデザインもある。〉||冒頭。

☆二月一〇日(木)【A組三七回】【B組三七回】①〈午前中 お茶のひととき、わずか2分〉②川上未映子《作家の口福》『朝日新聞』〇九年一二月五日③一〇二〇字/23×10④〈これから食について好きなことを好きなだけ、ということで週に1度を1カ月書くことになりました。どうぞよろしくお願いします。なので早速、自己紹介も兼ねての基本的な私の食事情をば、それでもってどこから書こうかなと思ってみるも、特にこれ、というのがなく、たとえば今現在はある日の午前10時19分であるけれど、今さつき起きてきたばかり。起床時刻は毎日だいたいこのあたりで、それから午前中に2本ほどエッセイの下書き兼本番用のを黙って書く(まあ普通しゃべらないね)。〉||冒頭。

☆二月一四日(月)【A組三八回】①〈現代学生百人一首〉②《天

声人語》『朝日新聞』一九九六年一月一五日③六〇〇字/4×10④〈震災の本を見るたび母が泣く妹の名が載る死者の一覧・高一・加藤いつか〉〈震災後更地になった空地にも秋のおとずれコスモスの花・松本綾介〉||冒頭。

☆二月一五日(火)【B組三八回】①〈昼食 あつという間のスパゲティ〉②川上未映子《作家の口福》『朝日新聞』〇九年一二月二日③一〇二〇字/23×10④〈30年余お米に慣れ親しんできた私ではありますが、同じくらいに麵も愛しているので昼食は9割つるとスパゲティを食べています。使う道具も少ないし調理時間も短いし、何よりも人生のほとんどの昼食が同じメニューなのだから失敗もほとんどないし(皆無じゃないところが何とも)、今から作って食べるとこ。〉||冒頭。

☆二月一七日(木)【A組三九回】【B組三九回】①〈Q携帯電話持つべきか A実は深い問い 考え続けて〉②森岡正博《悩みのレッスン》『朝日新聞』〇九年一〇月一日③八四〇字/15×14/写真あり||森岡氏の顔写真④〈迷っているのでしたら、ぎりぎりまで携帯電話を持たずに生活してみるのがいいかと思えます。というのも、あなたが大学生や社会人になったら、もう携帯なしでは勉強も仕事もできない現実がやってきます。携帯なしの生活を経験できるのも、あとほんの少しのあいだけなのですから。〉||森岡氏の回答部分の冒頭。

☆二月二二日(月)【A組四〇回】①〈キレル子どもと言語力〉②《天声人語》『朝日新聞』〇九年一二月二日③六〇〇字/6×18④〈癩癩を起こす」とか「癩癩玉を破裂させる」とか、以前は言ったものだ。いつしか「キレル」という、寒々とした言葉がとって代わり、世の中も殺伐となってきた。大きい癩癩玉の破裂は「ブチキレル」などと

う。荒い言葉である) 〓冒頭。

☆二月二日(火)【B組四〇回】二十八日(月)【A組四一回】①(コボちゃん 9828) ②植田まさし(コボちゃん)『読売新聞』〇九年一月十九日 ③四コマ漫画/16x9 ④襖の開け閉めをまだ心得ていない(コボちゃん)の物語。

二〇一〇年一月五日(火)【B組四一回】①(今年のあなたの夢は?) ②『朝日新聞』二〇一〇年一月三日 ③八三〇字/21x14/写真あり(晴天に恵まれて、大勢の参拝客でにぎわう境内) ④(トラ年の2010年が明けた2日、各地の神社は初もうでの人でにぎわった。今年あなたの夢は? ワンフリーズで答えてもらい、願いに込めた思いを聞いた。) 〓冒頭。(かつこよく)西川浩平さん(68) 〓酒屋経営、大阪市住吉区の住吉大社で 45年続く店の3代目だが、この不景気で経営は「底」。でも、後は希望をもって一步一步階段を上りたい。立派にかつこよく、同業者や近所のお得意さんに「さすが」と言われる引き際まで、希望の綱を離さないでいきたい。) 〓インタビューの一つ。

☆一月二日(火)【B組四二回】①(あのね)特集 うどんの具「トシコシ?」 朝寝坊「夢が長すぎた」 ②(あのね)『朝日新聞』二〇一〇年一月一日 ③九一〇字/15x22 ④(子どもの何げない一言を集めた「あのね」のコーナー。今年初めての回は、拡大版でお送りします。) 〓冒頭。(保育園の給食メニューに「年越しうどん」とあった。「トシコシが入ってるんやな」と喜んだ後で、「トシコシってなんやろ。(大津市 尾木佑・4歳) 〓読者投稿の一つ。

一月四日(木)【A組四二回】①(魁皇808勝単独1位 重い一勝戦友から 大海がつくり3連敗 大相撲初場所3日目 国技館) ②(東西トーザイ)『朝日新聞』二〇一〇年一月二三日 ③六六

〇字/15x31/写真あり 〓魁皇と千代大海の一番 ④(相撲の神様は時に残酷だ。兄弟弟子になる可能性があった2人にこんな明暗くつきりの舞台を用意するとは。幕内808勝目を挙げた魁皇の相手は、戦友千代大海。記録を抜かれた大横綱千代の富士の弟子は、引退への距離がまた一歩縮まる3敗目を喫した。) 〓冒頭。

☆一月二日(木)【A組四三回】①(おやつ みかん ぱくぱく気づけば10個) ②川上未映子(作家の口福)『朝日新聞』〇九年一月十九日 ③一〇二〇字/23x10 ④(さて、おやつ。昼食を終えて仕事への集中力が途切れてきたら何かしら甘い物で気を紛らわせつつもきゅっとまとめ上げるようなそんなひとときが必要だから、ふらふらとリビングにやってきた(というほど広い家でも何でもない)。) 〓冒頭。

☆一月二日(火)【B組四五回】二十八日(木)【A組四四回】①(夕食 ヒレ&にんにくのステーキな夜) ②川上未映子(作家の口福)『朝日新聞』〇九年一月二六日 ③一〇二〇字/23x10 ④(というわけで晩ご飯はステーキだ。お肉なんて基本的には焼くだけだから味つけ音痴な私であってもフライパンとガスコンロさえあればきゅと完成するでしょうから青森産のにんにくを気の済むまで買ってきつた。6個くらい。なぜそんなに買うのかとゆや、もちろん好きだからなんです。にんにくさえ入れておけばいいのものが美味しくなるのだということ。を骨身に沁みて知っているからなのだった。そして質には量も比例するのだから1回に1個を使いきってしまうという算段で、今夜大丸ピーコックで買ってきたちよっぴり高級なヒレ肉にも輪切りにんにくまるっと1個を投入予定。) 〓冒頭。

☆二月一日(月)【A組四五回】①(就学年齢 早生まれの子は親の選択で) ②松本由美子『朝日新聞』〇九年四月二二日 ③一〇二〇字/

14×16／写真あり。松本氏の顔写真④（入園、入学の季節だ。多くの子どもや家族は希望を胸に膨らませる。しかし「就学を延ばせたら」と考えている親も少なからずいるはずだ。私の妹は4月1日生まれだ。それだけが原因ではないのだろうが、小中学校ではいつも一番前に並び、学業でも人一倍の努力を要した。）
●冒頭。

二月二日（火）【B組四六回】①（Q奉仕は自分のためか A極限の利己の先には奇跡）②森岡正博《悩みのレッスン》『朝日新聞』○九年九月一三日③八四〇字／15×14／写真あり。森岡氏の顔写真④（まず結論から言うと、ボランティアをやめたという判断は、正しかったと私は思います。なぜなら、苦しい気持ちを抱えたままボランティア活動をしたとしても、その張り詰めた気持ちはきつと相手の人に伝わってしまい、お互いにとつてあまりよい経験にはならないだろうからです。）
●森岡氏の回答部分の冒頭。

二月四日（木）【A組四六回】【B組四七回】①（せつかな日本）②《天声人語》『朝日新聞』○七年九月一七日③六〇〇字／4×2④（米國勤務から戻って間もないころ、エレベーターの中で舌打ちされたことがある。乗って行き先のボタンを押し、そのまま立っていた。すると、若い背広姿が「チェッ」と言いながら、脇から腕をぐいと伸ばして扉を閉じるボタンを押しした。）
●冒頭。

二月八日（月）【A組四七回】九日（火）【B組四八回】①（高速無料化 小規模でも賛成できない）②《社説》『朝日新聞』二〇一〇年二月四日③一〇五〇字／17×13④（国土交通省が高速道路の無料化を一部区間で6月をめどに始めると発表した。利用者には喜ばしいが、多くの問題を置き去りにして進めるやり方で、賛成はできない。）
●冒頭。
二月一五日（月）【A組四八回】①（モーグルの五輪審判を3大会連続で務める 田中千香子さん（47））②《ひと》『朝日新聞』二〇一〇年二月一三日③六〇〇字／12×15／写真あり。田中さんのスナップ写真④（選手の4年間の努力が約30秒に凝縮される。そう思うと、一瞬も目が離せない。ミスは許されない。バンクーバー冬季五輪で、上村愛子らが出るフリースタイルスキー・モーグル女子（13日）の審判員を務める。）
●冒頭。

二月一六日（火）【B組四九回】二二日（月）【A組五〇回】①（あたしんち 617）②（けらえいこ《あたしんち》『読売新聞』二〇〇八年一月二日③二十三コマ漫画／15×30④（ユズヒコ）とその同級生による《ムジュンことば》）
●あたしんちの同級生に関する話。級友の一人が《天地無用》にある《ムジュン》を説くと、《ユズヒコ》は《食わず嫌い》（負けず嫌い）の話題を切り出す。

二月一八日（木）【A組四九回】【B組五〇回】①（母の土産 フォンデュ鍋で意外な発見）②森絵都《作家の口福》『朝日新聞』二〇一〇年一月二三日③一〇二〇字／23×10④（私の母は生粋の和食派で、一日の終わりに白いごはんを食べなければならぬに眠れないタイプだ。海外旅行の際には必ず大量のレトルトおかゆを持参する。以前、2人で豪州を旅したときには梅干しや佃煮までもスーツケースに忍ばせていて、やむなく私も毎晩おかゆにつきあうことになり、レストランで夕食をとったのは1週間のうち1夜だけだった（しかも和食レストランだった。）
●冒頭。

二月二三日（火）【B組五一回】①（品格欠かないか「朝青龍」報道）②島崎今日子《キュー》『朝日新聞』二〇一〇年二月一二日③約七〇〇字／12×12④（ほんと、勝手だなあ、怖いなと思うのは、メディアの論調及び、われわれ大衆の心理である。ついこの間まであれほど「問題を起こす悪いヤツ」だった朝青龍が引退記者会見を開いた途端、「平成の大横綱」とその業績を讃える報道が溢れだして、「愛すべき悪ガキ」

といったイメージへ様変わりしている。〕 冒頭。

二月二十五日(木)【A組五二回】【B組五二回】①〈再稼働から1か月坂の町尾道 空き家バンク 賃貸契約1号 問い合わせ50件超〉②『読売新聞』〇九年二月一日③八二〇字/二〇×二〇④〈尾道市中心部の千光寺山などの斜面に空き家が増え続け、△坂の町△の風情ある町並みが損なわれると懸念されている問題で、市が入居の促進策として、NPO法人「尾道空き家再生プロジェクト」に委託して再スタートした空き家紹介事業「空き家バンク」が好調だ。NPOが事業を受託して16日で1か月を迎えたが、50件以上の問い合わせがあり、20日には賃貸契約の△第1号△が成立する見通しとなった。〕 冒頭。

三月二日(火)【B組五三回】①〈日常がほくほくはずむリズム感 H氏賞の山本さん、初の句集「言葉でみんなに元気を」②『朝日新聞』二〇一〇年二月一八日③一三九〇字/二〇×二〇/写真あり〓〈だれかをおもしろがらせたいと思って詩や俳句をつくってきた〉と話す山本純子さん④〈詩壇の芥川賞と呼ばれるH氏賞を2005年に受けた詩人の山本純子さん(53)が、初めて出した句集「カヌーを干す」(ふらんす堂)を開くと、なんだか楽しくなってくる。スキップするようなどいのかしら。たとえば「カヌー干すカレーは次の日もうまい」はや夏が待ち遠しい。〕 冒頭。

☆三月一日(木)【A組五二回】【B組五四回】①〈キムタクの「目」と憲法〉②田村理『朝日新聞』〇六年五月三日③一八五〇字/二〇×二〇/イラストあり〓松永真・作④〈キムタク好きですか?『HERO』見ましたか?〉。必ず憲法の講義で問いかける。この夏、復活するというこのドラマのヒーローは、僕の講義では「権力を持つ者はすべてそれを濫用する傾向がある」と喝破したモンテスキューより重要である。〕 冒頭。

☆三月十五日(月)【A組五三回】一六日(火)【B組五五回】①〈春。君モ、キット咲ク〉②荒瀬克己『朝日新聞』〇八年三月三〇日③一五六〇字/二〇×二〇/イラストあり〓一本の木。④〈冬に、学校の正面玄関前のユリノキが枝を伐られた。天に向かって伸び、若葉を茂らせ、木陰をつくり、秋、黄色い葉が美しかった。それが冬のある日、知らないうちに枝をはらわれた。広がっていた梢が短くなって、寒々とした空に突き刺さっていた。〕 冒頭。

三月一八日(木)【最終回】①コメント王にコメント王②指導者自作③四コマ漫画/二〇×二〇④「コメント王」に取り組む生徒の様子を四コマ漫画で描いた。生徒には、次の二つの問いについて書かせた。①コメント王を通して、あなたにどんな力が身につけてきたと思いますか。あるいは、あなたのどんなところが鍛えられた、磨かれたと思いますか。②コメント王への要望や提案があったら書いてください。〕

ii 新聞記事の教材化についての考察

以上、合計七十二種類の記事を教材化してきた。書籍からの教材(二種類)や、稿者自作の教材(二種類。学習の振り返りとして第三回と最終回で活用)も含め(本稿ではまとめて新聞記事と呼ぶ)、多種多様な記事を取り上げてきた。株式欄や、テレビ・ラジオ欄を除けば、日々の新聞に含まれているほとんどすべての分野を覆うことができたと考えられる。ここに紹介した新聞記事は、次年度も使えそうか否かという観点から、二種類に分類することができる。

そのうち、次年度の活用が難しいと考えられるのは、記事の内容が新聞発行時の時事に依存する度合いの強いもので、社説、事件・話題の経緯や解説を述べる記事、新製品紹介などである。この種の記事には、新聞発行直後、事件や話題の直中で読むからこそ得られる読み応

えがあるが、それだけに、「熱しやすく冷めやすい記事」ともいえる。生徒は、テレビ番組等で、直近の事件や話題をある程度知っている場合が多い。したがって、そうした新聞記事を取り上げた回では、比較的取り組みやすそうな様子を見せる。「この事件なら知っている」「読んだことがある」という反応も多く見られる。「新聞記事」と聞いて生徒がイメージしやすいのはこちらの種類であろう。

一方、次年度も活用できると思われる記事は、新聞発行時の事件・話題とはある程度独立したもので、随筆やコラム、論説、漫画や韻文である。これらは、いわば「賞味期限の長い」記事である。この種の記事の中には、生徒に対して、「新聞には、このような文章も載っているのか」といった、新鮮な感触を与えるものも含まれる。

「i」で述べた、教材化した新聞記事のうち、次年度も活用できると考えられるのは、「☆」印を付した記事である。約七〇種類の記事のうち計四十六種類と、比較的多いことがわかる。

生徒にとって、直近の時事とは直接的な関係の薄い新聞記事を読むことは、時事を伝える記事を読む場合に比べて、取り組みにくいと思われる。ニュース等で見知った背景知識に頼れないため、読み書きする際の手掛かりが少ないからである。しかし、それだけに、授業で新聞を読んでコメントを書くという習慣を付けてしまえば、記事を読む力・批評する力は、確実に鍛えられていくと考えられる。コメントを書くために、その記事の本文を力いっぱい読もうとするからである。

また、「新聞には、このような文章も載っているのか」という感触を持たせることによって、新聞に対する生徒の見方を揺さぶることができる。新聞記事に対するある種の固定観念が、生徒を読むことから遠ざけている場合があるとすれば、こうした感触は、生徒を読むことに親しませるといふ大切な役割を果たす。しかも、そういう記事を読

む機会は、教師が与えない限り、生まれにくい。生徒の「閲読率」(池上彰「新聞ななめ読み」『朝日新聞』二〇一〇年四月三〇日:「テレビに視聴率があるように、新聞紙面にも閲読率のようなものがあるそうです」)が必ずしも高くないと思われる記事の中から、生徒の興味や関心を踏まえ、多様な種類の記事を取り上げることによって、それぞれの文章の書きぶりを感じ分け評価する力や新聞紙面を幅広く捉える力、すなわち新聞や文章を(批評する力)が身につくと考えられる。

時事を伝える「熱しやすく冷めやすい」記事を取り上げることによって、生徒たちの活動への取り組みやすさを確保することは、活動の継続・蓄積のために大切である。しかし、それと並行して、生徒たちが既にニュース等で見知っている事件・話題とは直接的な関係の薄い、「賞味期限の長い」記事を織り交ぜることによって、生徒たちに、読むことへの親しみや、読む力・批評する力を身につけさせることができると考えられる。次節では、こうした点に着目して、「コメント王」の学習指導の実際と考察を述べたい。

Ⅲ 学習指導の実際と考察

一年間の活動の中で、生徒の読む力・批評する力が伸びたという手応えをはっきりと感じることができたのは、川上未映子氏の随筆「作家の口福」を取り上げたときであった。「作家の口福」は、『朝日新聞』土曜版に連載されている「食」についてのコラムで、作家が一か月ごとに交替しながら執筆している。教材化した記事は、川上氏の全四回分である。川上氏のユーモラスな書きぶりを四回に渡って読み味わうことで、生徒に、文章の書きぶりを捉えさせ、評価させることを意図した教材化であった。まず、それぞれの回の生徒のコメントと、指導者のコメント(朱筆)の実際を、次項に記す。

i 学習指導の実際

二月一〇日以下、四回分の、生徒のコメントと指導者のコメントの実際を記す。新聞記事の概要は、「II・ii」の、同じ日付の項目を参照されたい。

二月一日(木)「見、無意味なことをだらだら書いているように見えたけど、ちゃんと文章が成り立っていて読んで面白かった。」

自分の中では新しいタイプの文章だなと思った。《指導者朱筆》この点に注目してほしい、と思っていた。》…B組・男子

二月一日(火)川上さんの文の表現の仕方が好きです。すらすら読むことができる。というかすらすら頭の中に入ってくる。《朱筆》き

っと一文一文の順番、一語一語の順番が整っているのです。《私はベーコンをいためるとフライパンの音が大きくなるので好きです。《朱筆》この一文、なかなかの出来だと思えます。》…B組・女子

二月一日(木)流れるように読んでいける文章だけど、ところどころで「ばっ」と予想できない展開に切りかわっていくこの文章が、や

っぱりおもしろい、と思った。私は作者の川上さんとは逆で「ふだん甘いお菓子や飲み物を口にする習慣」は大いにあるし、「大好きだからチョコレート」——キャッチコピーみたい。商品名で売ってそう——を

食べるという感じなので、健康的には作者の川上さんが、うらやましい。《朱筆》立派なコメントである。最初の一文、私も共感できるし、

ぜひ感じてほしいところだった。《注》「大好きだからチョコレート」は、川上氏の「好きじゃないけどチョコレート」を踏まえた表現) …A組・女子

二月二六日(火)この「作家の口福」は一週間に一度の連載だったみたいですが、一日の食事情を書いているような感じなので、一日で書ききったのかなーって思いました。《朱筆》こういう読みとりができる

とは。鋭い。《私は、来月の書き手の森絵都さんの『D I V E』が大好きです。《読んでますねえ。》(注)本記事末尾に、来月の書き手の紹介がある) …B組・女子 (以上、傍線は稿者)

以上は多くあるコメントの一部に過ぎないが、「コメント王」の実際的一端は示せたのではないかと考える。次項では、これらのコメントから読み取れる学習指導の成果を考察したい。

ii 学習指導の実際についての考察

授業において、取り上げた新聞記事を読む上での着目点を、教室全体に向けて助言しているわけではない。それでも、川上氏の文章を取り上げた四回の活動で、生徒は、文体や表現など、川上氏の書きぶりを自分なりに捉え、評価した。(「見、無意味なことをだらだら書いていくように見えた」(「すらすら頭の中に入ってくる」)「ところどころで「ばっ」と予想できない展開に切りかわっていく」)等のことばに、彼らの、文章を批評する力を認めることができる。

では、なにが生徒のこのようなコメントを引き出したのか。その要因の第一は、川上氏の独特の文体にある。

お湯が沸くまで仕事の続きをして、涌いたらそこにスパゲティを入れ、鍋の底に滑り降りてくるんとなったのを見届けてからにんにくをスライスして、たっぷりめにひいたオリーブオイルに唐辛子と一緒に入れる。匂いと色が目に見えてナイスな感じになってきたらベーコンを入れてしばらく炒める。植物的フライパン世界に動物がやってきたために油の質が急にどろんと変化するので、いつもあつと思ってしまう。何か間違ったことをしたようなそんな気持ちになるのだけれど、しかしベーコンって美味しいのだよね(火を通さずとも生で食べられることを知ったのはいいこないだのだけ)。

それで丁度いい具合に茹で上がった麵をお湯のしたたるままにフライパンに入れてまたもや軽く炒めて大量に刻んだ万能ネギを散らしてできあがり。お湯が沸いてから出来上がるまでかかった時間、12分。もはや料理とは言えないかも知れない手軽なスパゲティ制作は、このようにして私の午後の創作へのエネルギーを用意するのでありました。(川上未映子「昼食 あっという間のスパゲティ」『朝日新聞』二〇〇九年二月二日)

読点が少なく一文一文が長いにもかかわらず、文章は淡々と進み、読んでいて心地良い。ことばの思わぬ組み合わせや、ユニークな擬態語の使用、まるで話しているかのような書きぶりなどにも、面白みや親しみを感じることができる。こうした特色が、生徒にとって新鮮だったに違いない。

第二は、連載記事を教材化した点にあると考えられる。(一日の食事情を書いていくような感じなので、一日で書ききったのかなーって思いました)というコメントは、事実かどうかは措いて、新聞連載の性質と文章内容を考え合わせた、鋭い分析である。連載という仕組みを批評的に捉え、執筆する書き手の様子を想像することによって生まれたコメントといえる。連載を批評する力が認められる。

そして第三の要因は、取り組みによって生徒が蓄積してきた、様々な文章を読む経験であろう。教師が選んできた新聞記事を短時間で読むことを繰り返すという、「コメント王」が持つある種の制約は、生徒に、渡された記事にはどのような種類・内容があったか、今回の記事の新しさ・良さはなにか、といった考察の視点をもたらしたように思われる。(自分の中では新しいタイプの文章だなど思った)というコメントは、そうした考察の蓄積によって、文章を評価し味わい分けることのできる文章感覚が養われたことを表しているといえる。

以上に挙げた、独特の文体、連載記事の教材化、制約の中で読む経験の蓄積の三点が、「コメント王」の学習指導の実際から導き出される、新聞を読む力・批評する力を育むための方途である。

IV まとめ

高校一年生の帯単元「コメント王」における教材化の実際と、学習指導の実際を考察することによって明らかになった、新聞を読む力・批評する力を育成する上で有効だと考えられる点は、次の二点である。

○ 時の社会的話題とは関係の薄い、随筆やコラム、漫画、韻文等の記事を読ませる機会を習慣化すること。

○ 独特の文体で書かれた文章を読むこと、連載記事を読むこと、帯単元の制約の中で読む経験を蓄積することによって、記事を評価しながら読む視点がもたらされること。

短時間で読み通すことができ、多様なジャンルや連載を含む新聞記事は、帯単元学習で扱うにふさわしい、国語科授業で読む力・批評する力を育むための、有効な教材源である。

(広島大学大学院博士課程後期二年)